

教材活用シリーズ 第107回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果を得られるポイント（場面・方法）などを紹介します。

覚えやすい出題順！
短いサイクルで集中力アップ！

(株)教育同人社
『なかよし漢字ドリル』1～6



(株)教育同人社
編集部

1. はじめに

本教材は、小学校の漢字学習において、教科書の進度や学年にとらわれず学習でき、漢字学習が得意な児童はもちろんのこと、覚えることが苦手な児童も取り組みやすい、誰にとっても使いやすいインクルーシブ教育を担う新しいタイプの漢字ドリルです。カラフルな6つの色でお届けしています。

2. 特長

□ 1ページ目から流れを意識した構成

本教材は、1学年の漢字を年間1冊にまとめて掲載しています。児童が負担を感じずに楽し

く学習を進められるよう、出題順に工夫をしています。

★低学年は「カテゴリー別」

1、2年生の特長はなんとといっても、漢字と生活を関連付けた配列です。数字に関連した漢字、時間に関連した漢字、家族を表す漢字：など、毎日の生活のなかで目にする場面毎にとらえることができるので、ただ漢字を1字ずつ覚えるのではなく、漢字同士のつながりをイメージしながら学習することができます。(図1)

★中・高学年は、他にはない「画数順」

中・高学年は、画数の少ない順で出題して



【図1】低学年はカテゴリー別（右）、3年生以上は画数の少ない順に配列（左）

います。書きやすい漢字から取り組むことで、漢字学習が苦手な児童や学習障害のある児童のやる気を保ち、意欲的に取り組めるようにしました。

□ シンプルで短いサイクルのくりかえし

本教材は、学習の量にも配慮しています。3～5字を1サイクルとして、「練習→読む→書く」をくりかえします。教科書の進度に合わせる必要がないので、児童やクラスの進度に合わせて細かく区切ることができます。

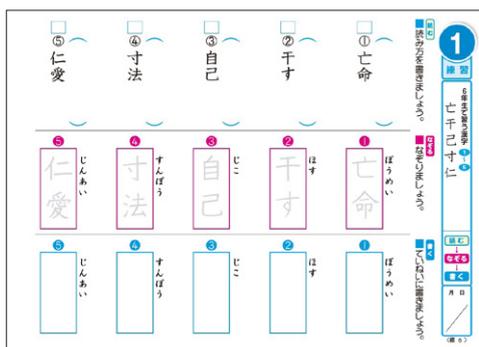
□ **誰もが楽しく学習できるために**
 また、本教材の大きなコンセプトに、「誰でもいつでも楽しく漢字学習ができる」ことがあります。
 漢字表では、境界線がないと区別しづらい児童のために漢字毎の枠を切り離し、筆順の分解には区切り線を入れて見やすくしました。
 練習ページで出題している言葉は、漢字表のなかにある語句から選んでいます。同じ語句で「読む↓なぞる↓練習する」の作業をシンプルに行うことで安心して漢字の練習が行えます。
 また、作業指示の聞きわけが苦手の児童のことも考慮し、練習欄を色分けし、迷わないようにしました。

□ **本冊と同じ並び順！「全漢字確認テスト」**
 学年のすべての漢字をまとめて確認するのに便利です。新学期の初めに前の学年で習った漢字の定着度を測る、学習した範囲や理解した内容を確認するなど、使い方は自由です。別の学年のテストもダウンロードできます。

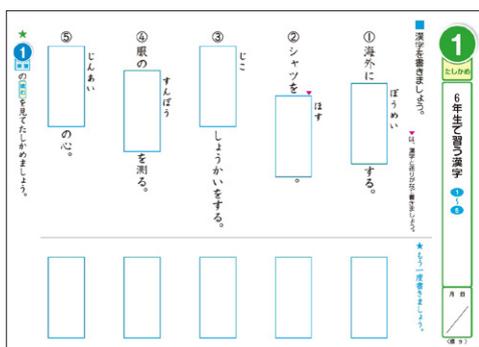
□ **電子黒板、タブレット用の指でなぞれる「指書きレッスン」**
 タブレットを用いて、児童が自分の指でなぞりながら筆順を確認することができます。筆順はドリルと同じ色分けになっているので、混乱することはありません。



▲漢字表



▲練習

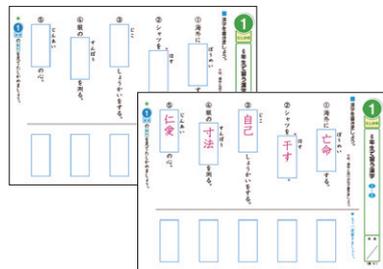


▲たしかめ

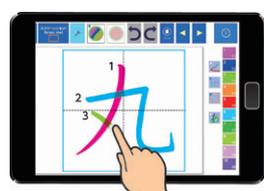
【図2】わかりやすい紙面

□ **「たしかめ」ミニプリントで本冊の練習も**
 本冊の「たしかめ」ページをもう一度やらせたい、毎日確認したい、という先生にはびつたりのプリントです。本冊とまったく同じレイアウトなので、間違いの多い児童に復習プリントとして渡したり、プレテストとして用いたり、先生のアイデアによっていろいろな使い方が可能です。

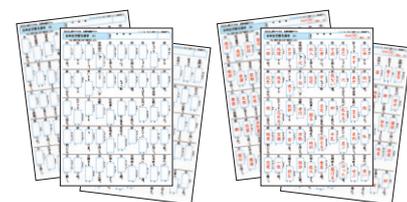
4. 最後に
 教育同人社では「全ての子どもに、もっと教育を」を理念に掲げ、誰でも使いやすく先生の指導しやすい教材作りにこれからも邁進して参ります。



▲「たしかめ」ミニプリント



▲指書きレッスン（アプリ）



▲全漢字確認テスト

【図3】学習を深める豊富なプリントやデジタル教材